



経団連自然保護協議会
Keidanren Committee on Nature Conservation
公益信託
経団連自然保護基金
Keidanren Nature Conservation Fund



生物多様性に関するビジネスマッチング 企業とNGO等の交流会



2023年12月5日(火) 16:15~18:00

経団連会館 2階 国際会議場

主催:

経団連自然保護協議会

2030 生物多様性枠組実現日本会議(J-GBF)

企画協力:

ビジネスフォーラム企画委員

(経済同友会、日本商工会議所)

プログラム

16:15~主催者挨拶

経団連自然保護協議会会長 西澤 敬二

16:25~出展企業 16 社・団体 ピッチ





16:45~出展NGO 14団体 ピッチ

17:00~交流・意見交換タイム

18:00~閉会挨拶

環境省 自然環境局

参加企業一覧(五十音順)

企業名	企業概要
 <p>INNOQUA (株)イノカ</p>	海洋環境を水槽内に再現する環境移送技術を用いて、海の見える化を行っています。リアルな生態系を見せる教育事業、そして都市部でも様々な海洋研究を可能にする海洋研究プラットフォーム事業を展開しております
 <p>Invax Corporation (株)インバックス</p>	あらゆる土砂を用途に応じた固さに固めることで、建設資材として活用する技術を提供しています。同技術は CO ₂ 排出量や水使用量等を大幅に削減することが出来るため、環境に配慮したインフラ整備が可能です。世界中の廃棄されていた土砂を地域内で活用することにより、環境負荷を低減させ、持続可能な社会を実現します。
 <p>笑農和 Enjyoment Of Wonderful Agriculture (株)笑農和</p>	スマホでかんたん水管理「パディッチ(paditch)」を販売する、アグリテック企業です。水田の中干し延長による温室効果ガス削減が、J クレジットの方法論に登録されたことを機に、水稻栽培の水田において J クレジットを確実に生成できるシステム「paditch カーボン・オフセット」を展開中です。
 <p>endophyte (株)エンドファイト</p>	森林由来の微生物「DSE」技術を用い、生育が困難な環境下において通常以上に生育が可能な高機能苗を実現する。農業分野においては、世界の食糧危機解消、土壌再生、農業の脱炭素化の実現を目指すとともに、森林・植林分野では世界のあらゆる環境において植林が可能な苗の実現を目指し、世界の砂漠化解消の実現を目指す。

企業名	企業概要
 (一財)沖縄県 環境科学センター	生物多様性保全に携わる環境コンサルタントです。30年以上に渡って培ってきた調査や保全の技術、地域との信頼関係を活かし、ネイチャーポジティブに貢献します。社会貢献活動としてのサンゴ再生、土地利用や開発時の自然環境の保全・再生、輸送に伴う外来種の侵入監視など、企業の生物多様性保全の取組を支援します。
 建設環境研究所 (株)建設環境研究所	私たちは「人と自然が調和した環境を未来につなげること」をミッションとし、生物多様性関連の技術サービスの提供に取り組んでおります。環境計測や環境評価に関わる技術を保有しており、それらの一部は TNFD 情報開示にも対応しております。リモートセンシング、環境 DNA、自然共生サイト認定支援などをご紹介します。
 ThinkNature (株)シンクネイチャー	生物多様性データと AI でネイチャーポジティブの可視化。自然関連収支を計算可能に
 BIOME (株)バイオーム	いきものコレクションアプリ「Biome」をはじめとしたアプリやサービスを通じて世界中の生物情報をビッグデータ化し、環境保全を加速させてネイチャーポジティブを実現するためのプラットフォームの構築を目指しています。生物多様性を脅かす「4 つの危機」に対処するためのサービス群を産官学問わずご提供しています。
 marihabi MARINE HABITAT (一社)マリンハビタット吉岐	我々一般社団法人マリンハビタット吉岐は、海に関わる全ての生物、人類に対して住みよい海洋環境を創造していく法人です。その中でもリーフボールを使った新しい手法の藻場造成に力を入れており、沿岸域から地球の活力を生み出していきます。
 Leave a Nest The Knowledge Manufacturing Platform (株)リバネス	株式会社リバネスは社員全員が研究者で、「科学技術の発展と地球貢献を実現する」を理念に掲げ、科学技術関連の教育、人材、研究、創業の事業を展開しています。リバネスと次世代との研究共同体を作り、生物多様性に携わる人材を増やし、研究や社会課題解決に取り組むプロジェクトを創出しませんか？
 BIOTA (株)BIOTA	「微生物多様性によって健康で持続性のある暮らしをつくる」ことを目指し「微生物研究」「空間創造」「文化醸成」の3つの事業を実施しています。微生物のマイクロバイオーム解析を軸とし、生活空間(室内、建築、都市など)の生態系や微生物多様性をより良くしていくための提案や科学的な評価を行っています。
CollaboGate Japan(株)	信頼できるデータ流通により環境価値とネイチャーに貢献！ IoT 向けデータインフラ「NodeX」
 (株)GREEN FORESTERS	当社は林業のアップデートを目指す植林育林専門集団です。企業価値向上に資する森林由来のネイチャーポジティブ指標の設定、施行計画の立案、植林や育林施業の実施までトータルで提案・実行します。
 SW:ITCH (一社)SWITCH	SWITCH は、若者たちが目指す「脱炭素・生物多様性・循環型社会」の未来を実現するために、世代や業界を超え共創するプラットフォーム。国連環境計画ナイロビ本部と連携し、作成したオンラインコースを無料で提供。日本の人口の 3.5% = 440 万人への普及を目指し、次世代環境リーダーの育成をサポートしています。
 TOWING (株)TOWING	もみ殻や食品残渣などのバイオマスを炭化したバイオ炭に、独自選抜した土壌微生物群を付加し、有機肥料で培養した高機能バイオ炭「宙炭(そらたん)」を開発。農地利用により、有機農地転換を早めることで化学肥料の利用を抑制し、農地への炭素貯留も実現。さらに、土中の土壌微生物群を最適に整え、生物多様性にも貢献。
 VALUE FRONTIER Value Frontier(株)	環境・社会課題解決を通じた企業価値向上を目指す真の「SX 経営」実現へ。事業を通じた環境・社会インパクト評価、リスク・機会の把握、目標設定と指標管理、対策・ロードマップ等の戦略策定、情報開示や国際イニシアティブ対応、社内浸透のための勉強会(日英対応)まで、さまざまな環境経営課題に対応します。

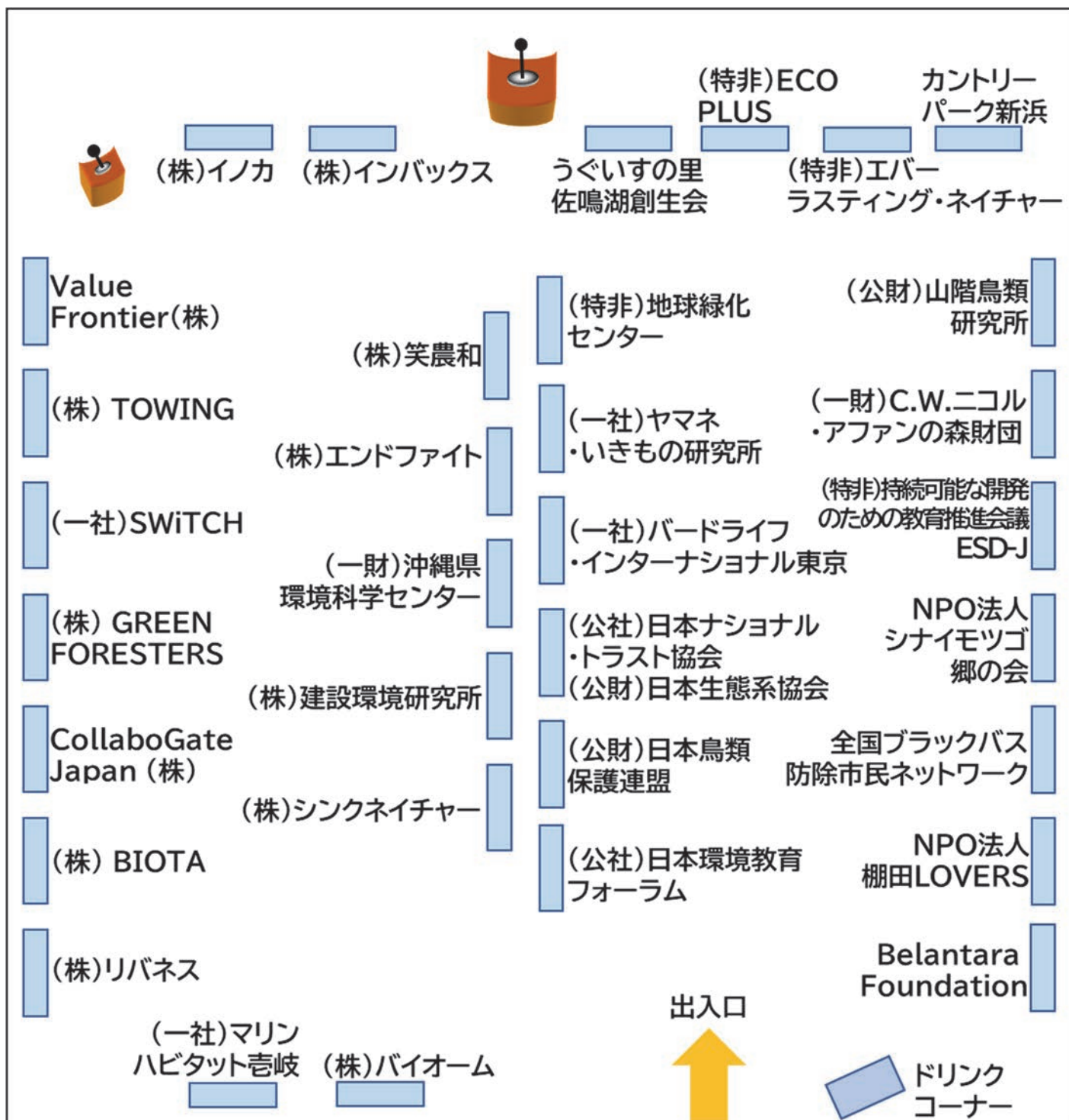
参加企業の PR 動画については、環境省 YouTube チャンネルよりご覧いただけます。
 こちらの QR コードから再生リスト「生物多様性ビジネスマッチング」をご確認ください



参加 NGO 一覧(五十音順)

団体名	団体紹介
うぐいすの里 佐鳴湖創生会	【一億総絶滅した佐鳴湖のヤマトシジミ】の再生を！ 課題①佐鳴湖ヤマトシジミの健康診断 ②貧酸素・無酸素の底質底泥の改善。◆求む①生態調査②実証実験③政策提言 ➡【日本の疲弊する汽水湖救済】に愛の手を。
(特非)ECOPLUS (エコプラス)	高野孝子代表理事が 1992 年に創設。「ひと、自然、異文化」をテーマに国内外で青少年らへの体験活動を提供しています。ヤップ島では、経団連自然保護基金のご支援で、生態系保全のための活動を実施してきました。
(特非) エバーラスティ ング・ネイチャー	「豊かな海と人々の暮らしや文化が共存できる社会の実現」を目指し 1999 年から活動開始。インドネシア・小笠原・関東で、主にウミガメ類の調査・保全活動を精力的に行う他、普及啓発にも力を入れている。
カントリーパーク新浜	本会ではこれまで、東日本大震災の津波で被災した仙台市沿岸地域の生態系の復興を軸とした街づくりに取り組んできたが、直近では仙台のシンボリック河川である広瀬川も組み込んで、杜と水の都構想に取り組んでいる。
(公財)山階鳥類研究所	「翼に託す地球の未来」をキャッチコピーとして、鳥類を中心とした生物多様性の保全に取り組んでいます。特に、アホウドリやヤンバルクイナなどの希少種の保全や鳥類の長期モニタリング等を実施しています。
(一財)C.W.ニコル・ アファンの森財団	37 年前から長野県黒姫で生物多様性の回復を目的とした自然再生を実践し、今では国や県の絶滅危惧種が 70 種以上確認される美しい森となっている。そのノウハウを活用し多くの自然再生に寄与することを目指している。
(特非)持続可能な開発 のための教育推進会議 (ESD-J)	ESD-J は、持続可能な社会づくりに向けた人材育成を推進しています。生物多様性保全に向けた教育者の取組を推進するために一緒に協働できる企業、団体等の仲間を探していますので、ご連絡ください。
NPO 法人シナイモツゴ 郷の会	里山ため池の生態系を復元・保全するためブラックバスとアメリカザリガニ防除活動を 20 年間続けています。捕獲技術の効果化と省力化により、多くの生き物がよみがえっています。自然共生サイト登録申請中です。
全国ブラックバス防除 市民ネットワーク	特定外来生物に指定されても拡散がなかなかとまらないブラックバスの問題に始まり、30by30 の実現を妨げる水辺の外来生物の防除と、その目的である環境保全復元に取り組んでいます。
NPO 法人 棚田 LOVERS	私たちは「棚田の素晴らしさ、自然とともに生きる豊かさを伝えていきたい」（棚田は、山や谷間の傾斜地に段々と階段状に連なった田んぼ）という想いで 2007 年から、棚田保全、再生、自然体験活動をしています。
(特非)地球緑化 センター	『緑、人を育む』をテーマに、日本国内の森林保全、中山間地域活性化のための活動を推進。個人や企業、教育機関など様々な人たちへ向け、多彩なボランティアプログラムの企画・提供、情報発信を行っています。
(公社)日本環境教育 フォーラム	JEEF では日本国内での環境教育活動だけでなく、インドネシア、バングラデシュなど広くアジア圏での環境保全活動も実施しております。人と自然の共生を目指し、地域の人たちの顔の見える環境活動を実施中です。
(公財)日本鳥類 保護連盟	普及啓発、調査研究、国際協力を柱に、鳥類を中心とした自然保護活動、子供達への環境教育等を行っています。フィリピンでは国際協力として現地の NGO と協力して植樹や調査、密猟対策、環境教育等を行っています。
(公社)日本ナショナル・ トラスト協会 (公財)日本生態系協会	【(公財)日本生態系協会】自然と共存する国づくり、地域づくりを目指し、コウノトリやトキ等を指標とした生態系ネットワークや私有地の生物多様性を数値化する「JHEP 認証」、「ビオトープ管理士」「こども環境管理士」認証などに取り組んでいます。
(公社)日本ナショナル・ トラスト協会	【(公社)日本ナショナル・トラスト協会】土地の買い取りなどによってその自然を永続的に守る、ナショナル・トラスト活動に取り組んでいます。
(一社)バードライフ・ インターナショナル東京	バードライフ・インターナショナルは、1922 年に英国で発足した国際環境 NGO です。120 以上の国や地域のパートナー団体とともに、学術的なデータに基づいて、様々な環境保全活動を推進しています。
(一社)ヤマネ・いきもの 研究所	ネイチャーポジティブを担う企業人育成の生物多様性セミナーを実施中。「体験」・「知識」・「ふりかえり」、「ワークショップ」を繋げ自分事化、自社化を目指す。さらにヤマネを用いて企業林の OECM 化を目指す。
Belantara Foundation	LIVING IN HARMONY PROGRAM: Human-Elephant Conflict Mitigation through Community Participation. (コミュニティ参加による人間とスマトラゾウとのコンフリクト減少)

会場レイアウト



本日は「2030 生物多様性枠組実現日本会議(J-GBF)第3回ビジネスフォーラム・経団連自然保護協議会シンポジウム」
 「生物多様性に関するビジネスマッチング・企業とNGO等の交流会」に、ご参加いただき、ありがとうございました。
 今後の参考にさせていただきたく、以下QRコードからアンケートの回答に、ご協力お願い申し上げます。



「ネイチャーポジティブ」イメージキャラクター
 「だいだらポジ(DAIDARAPOSIE)」
 日本各地で山や湖、川を作ったとして伝承されている巨人「だいだらぼっち」がモチーフで、地球のポジティブな未来を抱きしめて見守り続けるキャラクターとして制作されました。

